

TOTO

小型電気温水器（元止め式）

湯ぽっと

RED12型・RED20型・RED30型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

7 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。この施工説明書では、商品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表 示	意 味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次の意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な禁止		必ず実行		アースを接続せよ

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。

なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

警告

 分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない (感電や故障の原因になります。)
 水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない (故障、感電の原因になります。)
 禁 止	屋内用のため、屋外には設置しない(感電や故障の原因になります。)
	水・油・洗剤などがかかる位置に電源プラグ用のコンセントを設けない (感電の原因になります。)
	電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わない (感電・火災の原因になります。)
	指定する電源以外では使用しない (ヒーターの断線・火災などの原因になります。)
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない (火災の原因になります。)
	中ふたに取り付けてある逆止弁を取り外さない (蒸気が漏れて火災や故障の原因になります。)

7 安全上の注意 (つづき)

警告

 アース接続	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う（誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。）
 必ず実行	漏電遮断器を取り付ける（感電や火災の原因になります。） 熱湯用出湯口には必ず専用水栓を接続する（一般水栓を接続すると水栓が破損し、やけどや水漏れのおそれがあります。） 開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する（段ボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。）

注意

 禁止	タンク内に水がないときは、絶対に電源プラグをコンセントに差し込まない（空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。） 水道水以外は、通水しない（井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。） 商品に強い力や衝撃を与えない（故障や水漏れの原因になります。） オーバーフロー配管の途中をバルブなどでふさがない（蒸気が排水されないことがあり、水漏れのおそれがあります。） ヤカンやコンロの蒸気や熱がかかるような場所には設置しない（感電や故障の原因になります。）
 必ず実行	水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする（空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。） 施工後、長期間使用されない場合は、電源プラグを抜いて水抜きする（水質が変化した場合、下痢・腹痛など体をこわすおそれがあります。） 機器の満水質量に耐える壁面に設置する（落下・破損し、けがをするおそれがあります。） 排水管は耐熱性のものを使用する（熱による変形、割れなどで水漏れするおそれがあります。）

注意

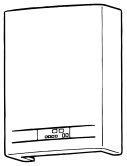
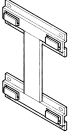
 必ず実行	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる（フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。） 凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く（凍結破損し、水漏れのおそれがあります。）「16 水抜き方法」を参照ください。 必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付け（凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。） 必ず専用水栓を使用する（水漏れの原因になります。） フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、止水栓を閉めてから行う（水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。）
---	---

おねがい

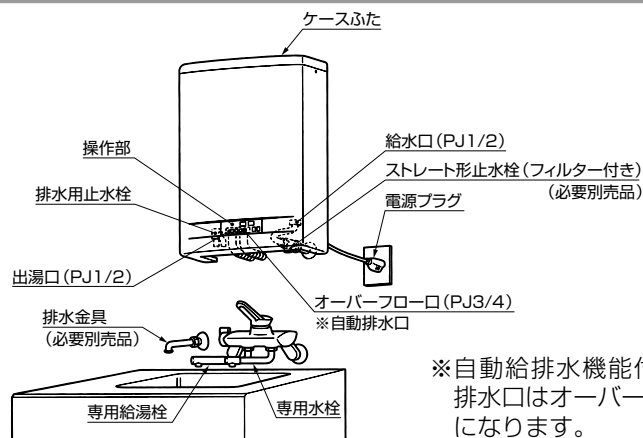
給水圧力は最低必要水圧（流動時）0.05MPa・最高水圧（静止時）0.3MPaです。この圧力の範囲内でご使用ください。給水圧が0.3MPaを超える場合は、必ず「電気温水器」と「専用混合水栓まぜ〜」の一次側に減圧弁を取り付けて0.3Mpa以下に減圧して下さい。（万一、ボールタップが破損した場合、オーバーフローを起こすことがあります。また、「専用混合水栓まぜ〜」から出る湯の温度が低くなります。） REDと「専用混合水栓まぜ〜」を組み合わせる使用するときには、給水源は高架水槽などを介していることをご確認ください。水道直結でご使用の場合は専用の熱湯用単水栓をご使用ください。 取扱説明書の保証書に、取付店または販売店名およびお引渡し日を必ず記入してください。 必ず排水金具およびフィルター付き止水栓（必要別売品）を取り付けてください。 給水管にはフレキシブル管をご使用ください。（鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り動作不良を起こすことがあります。） ケースカバーにテープで張り付けられている注意書類は、必ずお読みください。 オーバーフロー、排水配管は排水口空間を取ってください。（施工例参照） 出湯管は、鳥居配管にしないでください。（「13 連結管の取り付け」参照）（エアータマリ、給湯流量が少なくなることがあります。） 空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。 天井裏など日常点検ができない場所への設置は避けてください。	
--	--

2 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

①電気温水器本体	②取付金具
	 取付金具  平ワッシャー (4個)  スプリング ワッシャー (4個)
③取扱説明書(保証書付)、水抜きチューブ、施工説明書	④導水管、防虫網、ボールタップ浮玉
 取扱説明書  L=1000mm  施工説明書 (本紙) お客様にお渡しください	 導水管  防虫網  ボールタップ浮玉

3 各部の名称

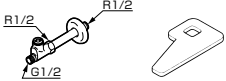
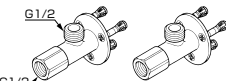
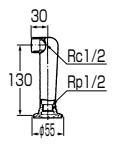
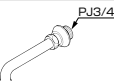
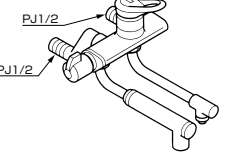
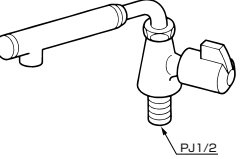
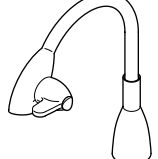
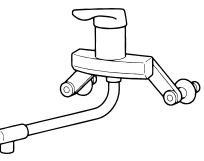
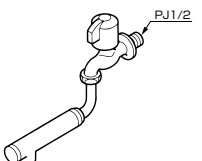
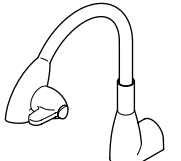


※自動給排水機能付の場合、自動排水口はオーバーフロー口と共通になります。

4 仕様一覧

- 給水方式：元止め式（ボールタップ方式）
- 沸き上がり温度：約60～98℃
- 出湯温度：約60～98℃（設定温度による）
- 使用可能環境温度：1～40℃
- 安全装置：温度過昇防止器（手動復帰式バイメタル）
- 最低必要水圧（流動時）：0.05MPa
- 最高水圧（静止時）：0.3MPa
- 詳しくは取扱説明書を参照ください。

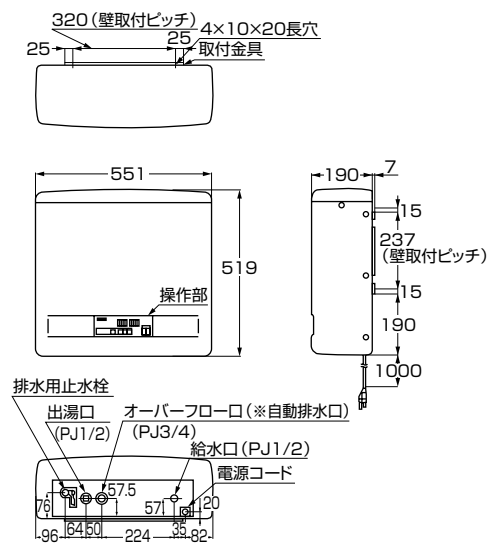
5 別売品一覧

	図面	品番	備考
★ストレート形止水栓		TL348CU	フィルター付き (標準施工に使用) ※給水管とカバーは使用しません。
★アングル形止水栓		TL347CU	フィルター付き (露出配管施工に使用)
水栓取付用脚		TN57-1RX	露出配管時の専用湯水 混合栓固定用 (2個入)
		TN52LX13 めねじ式	高さ130mm 床給水用 (2個入)
		TN52LPX13 はさみ込み式	
		TN52LEX13 おねじ式	
★排水金具		T406B1	排水・オーバーフロー用
★専用 水栓	専用混合栓（まぜ〜る）		熱湯用単水栓
	T235UDN	T36FDH13	T71GDR
			
	T230UDSX	T30FDU13	T70GDR
			

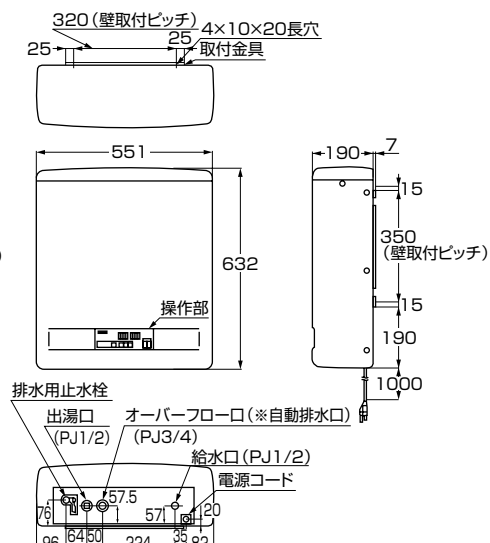
★は必要別売品です。

6 寸法図

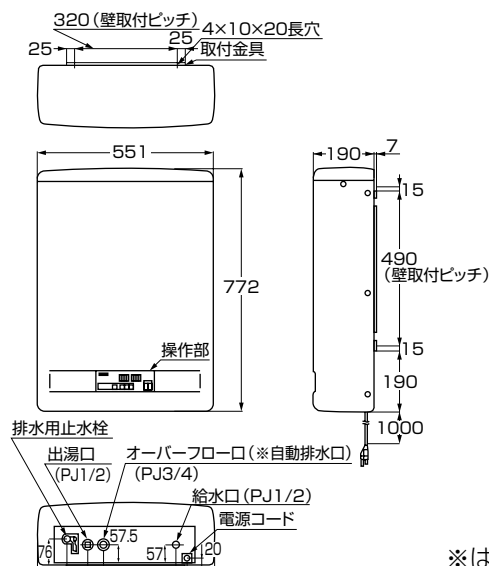
RED12型



RED20型



RED30型

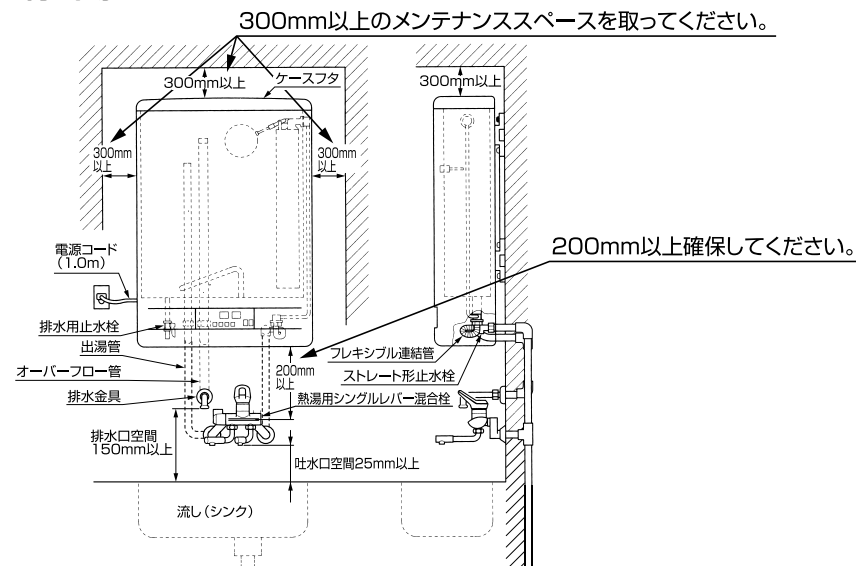


※は自動給排水機能付のみ

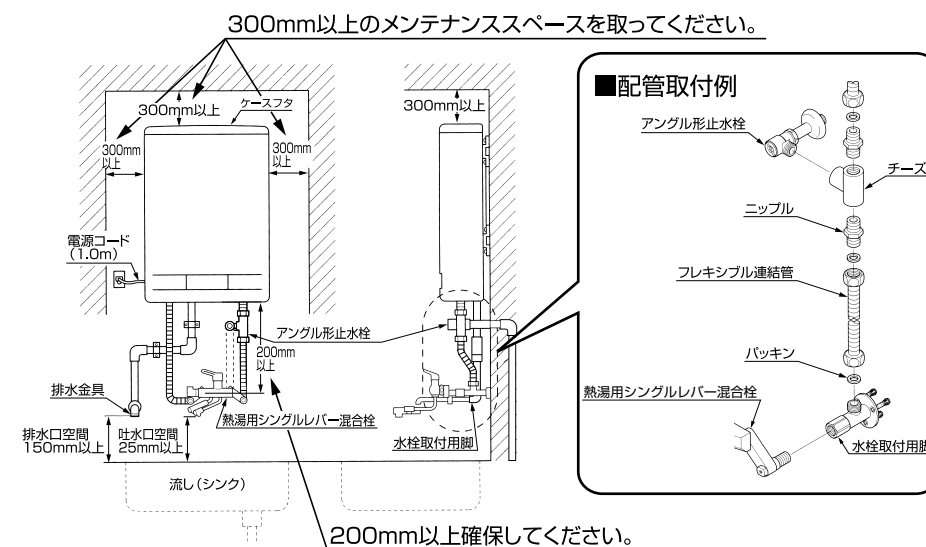
7 施工例

注意 給水圧を確保するため温水器本体底面から専用水栓までの距離(落差)を200mm以上取ってください。(出湯配管が長すぎると配管内の冷めた湯が出る場合があります。)

・標準施工

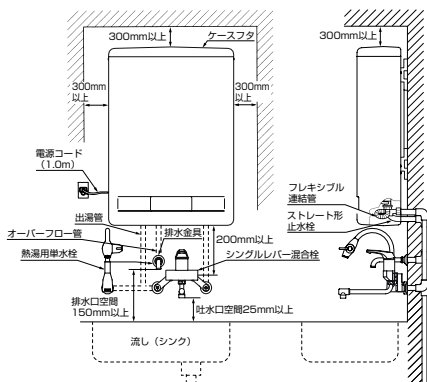


・露出配管施工

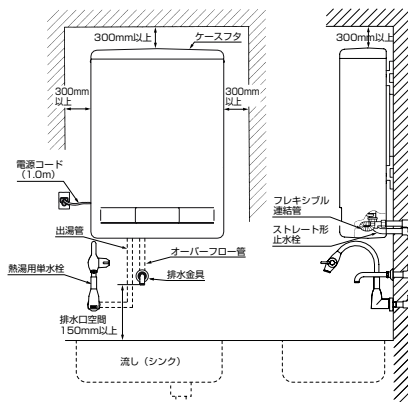


7 施工例（つづき）

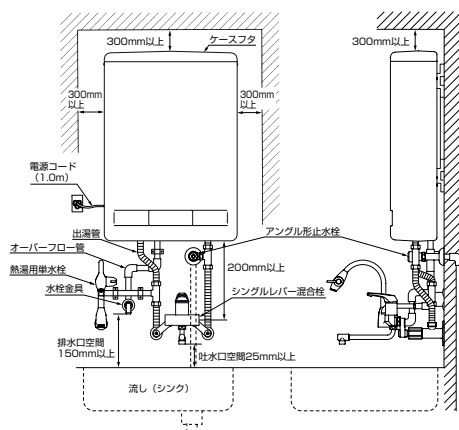
標準施工 （熱湯用単水栓とシングルレバー混合栓）



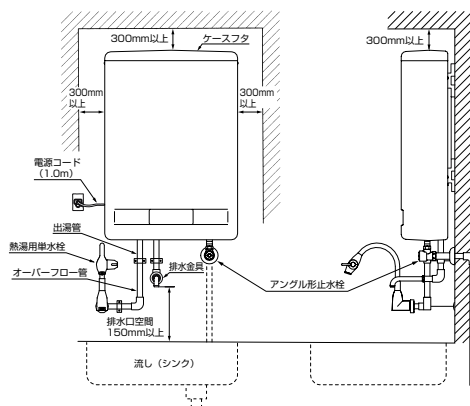
標準施工 （熱湯用単水栓）



露出配管施工 （熱湯用単水栓とシングルレバー混合栓）

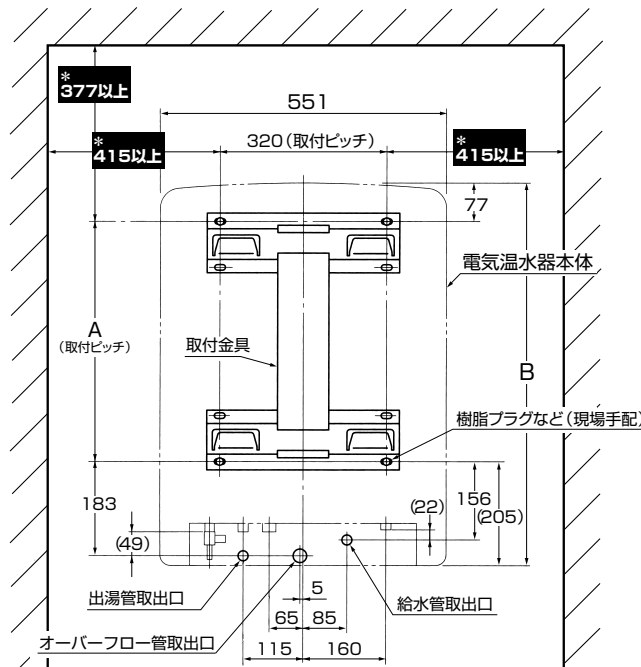


露出配管施工 （熱湯用単水栓）



背板の標準施工例

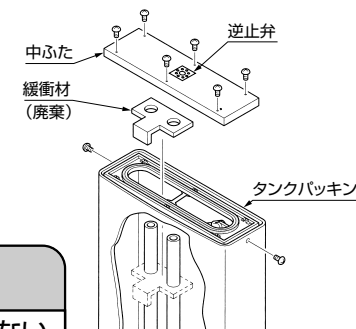
注意 メンテナンススペースを確保するため、必ず*寸法を取って施工してください。



貯湯量	寸法 (mm)	
	A	B
12L	237	519
20L	350	632
30L	490	772

8 タンク内の緩衝材取り外し（廃棄）

- ①ネジを外して、中ふたを開ける。
 - ②タンク内部の緩衝材を取り外す。
- ※取り外したあとは廃棄してください。



警告



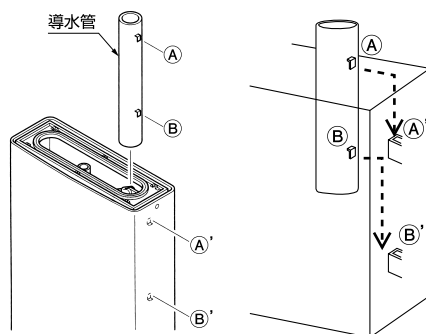
中ふたに取り付けてある逆止弁を取り外さない
（自動給排水のみ）
（蒸気が漏れて火災や故障の原因になります。）

9 導水管の取り付け

①導水管のフックをタンク内の取付金具に引っかけて固定する。

(A)と(A')、(B)と(B')を引っかけます。

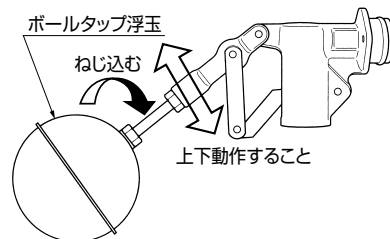
注意 導水管が上下とも固定されていることを確認してください。



10 ボールタップ浮玉の取り付け

①ボールタップ浮玉をねじ込んで取り付ける。

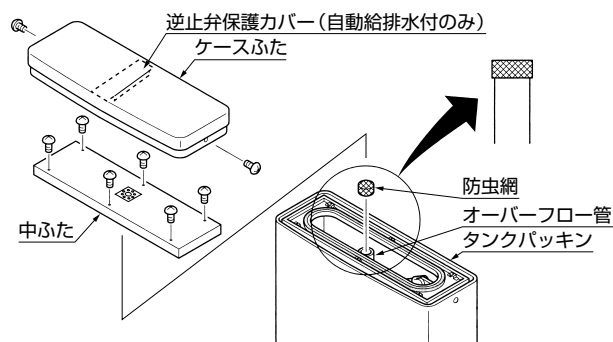
注意 取り付け後、スムーズに上下することを確認してください。



11 防虫網の取り付け・ふたの取り付け

①オーバーフロー管に防虫網を取り付ける。

②タンクパッキンがきちんと取り付けられていることを確認し、中ふたを止めて同梱のケースふたをしてネジを止める。



注意 自動給排水付の場合、ケースふたに逆止弁保護カバーが取り付けられています。機能を正常に発揮するために必要ですので、取り外さないでください。

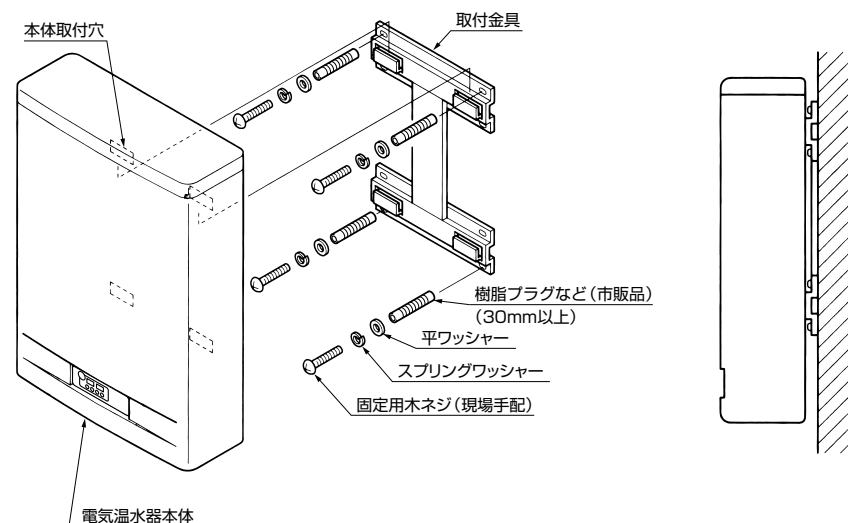
12 本体の設置

注意



機器の満水質量に耐えうる壁面に設置する
(落下・破損し、けがをするおそれがあります。)

(1) タイルまたはコンクリート壁に取り付ける場合



①下穴を開け、樹脂プラグなど（現場手配）を使用して取付金具を固定する。

②電気温水器本体の取付穴を取付金具に引っかける。

◇上下4カ所に引っかかっているか確認する。

◇本体の傾きがないことを確認する。

◇電源コードのかみ込み、エッジ部への接触などに注意する。

※固定用木ネジはφ4.5・長さ40～50mm（現場手配）のものと30mm以上の樹脂プラグ（市販品）を使用してください。

(2) 木製の壁材に取り付ける場合

①満水時の商品質量に耐えうる構造であることを確認し、固定金具を木ねじ2本で固定する。
また、必要に応じて壁構造に応じた十分な補強を施す。

※固定用木ネジは、φ4.5・長さ40～50mmのものを使用してください。（現場手配）

13 連結管の取り付け

(1)『7. 施工例』を参考に連結管を接続してください。

⚠ 注意



給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる(フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。)

◇給水側の止水栓は必ずフィルター付き止水栓にしてください。

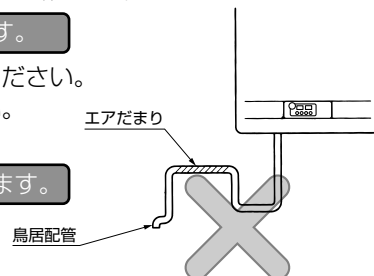
異物などが混入し、機器の故障の原因になります。

◇出湯管には銅管またはステンレス管を使用してください。

◇出湯管が露出する場合は断熱材を巻いてください。

◇出湯管は鳥居配管にしないでください。

エアだまり、給湯流量が少なくなることがあります。

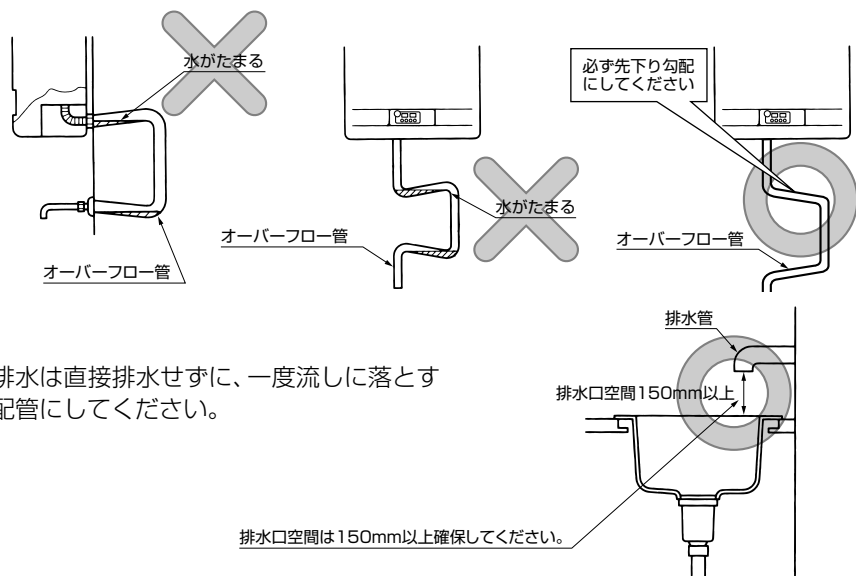


◇オーバーフローの配管は20A (3/4) 以上のものを使用してください。

◇オーバーフロー管の途中をバルブなどでふさがないでください。

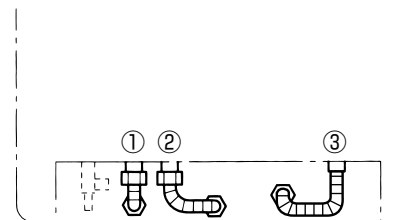
◇オーバーフロー管は下り勾配にしてください。

水がたまりオーバーフロー管から蒸気が排出されないことがあります。

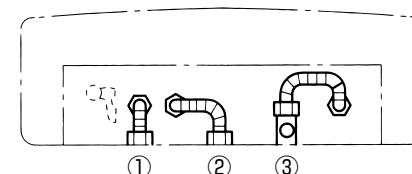


・排水は直接排水せずに、一度流しに落とす配管にしてください。

フレキシブル連結管の施工例 (標準施行の場合)



(前面から見た図)



(底面から見た図)

注意

表示位置に事前配管を行い下図のようにフレキシブル連結管で接続してください。

		①出湯管用 フレキシブル連結管 (L=120mm)	②オーバーフロー管用 フレキシブル連結管 (L=120mm)	③給水管用 フレキシブル連結管 (※L=220mm)
現場手配 フレキシ管の参考 情報(曲げ目安)	前面(右側面)			
	底面			

※ストレート形止水栓取り付けの場合

14 電気工事

⚠ 警告	
⊘	指定する電源以外では使用しない (ヒーターの断線・火災などの原因になります。)
⚡	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う。 (誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。)
!	漏電遮断器を取り付ける (感電や火災の原因になります。)

(1) 接地極付電源プラグになっていますので必ず対応したコンセント工事と電源容量を確保する。

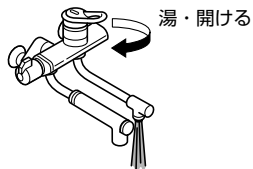
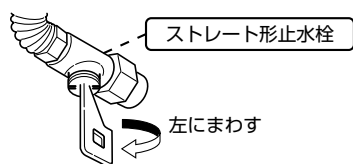
機種	電圧	電源プラグ(品番)	対応コンセント(品番)
RED12型	AC100V仕様	差し込みプラグ接地型2P	パナソニック電工:WK3001W・WF3002EK
RED20型 RED30型	AC100V仕様	差し込みプラグ接地型2P パナソニック電工:WF5121	パナソニック電工:WK3821・WN1121W1
RED12型 RED20型 RED30型	単相AC 200V仕様	差し込みプラグ接地型2P パナソニック電工:WF5112	パナソニック電工:WK3012・WF3012EK

(2) 電源が規定電圧であることを確認する。

15 試運転

1. 電気温水器への給水

- ①排水用止水栓および専用給湯栓が閉まっていることを確認する。
- ②給水側のストレート形止水栓を全開にする。

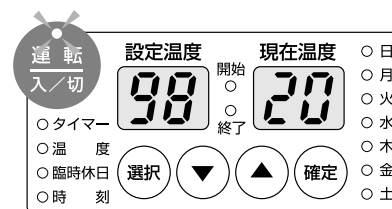


- ③給湯ハンドルおよび排水用止水栓を開けると水が出ることを確かめる。
- ④配管接続部に水漏れがないことを確認する。
- ⑤配管施工時の油などが入り、においがある場合がありますので、その際は給湯栓を開けてしばらく放水する。

2. 電気温水器への通電

満水になったことを確認し次の方法で通電確認を行ってください。

- ①電源プラグをコンセントに差し込み、現在温度および現在曜日が表示されることを確認する。
- ②『運転』スイッチを押し、『運転』ランプが点灯することを確認する。
- ③『運転』スイッチを再度押し、『運転』ランプが消灯したことを確認し、電源プラグを抜く。
※運転ランプ点灯後、長時間放置するとタンク内の水温が上昇します。

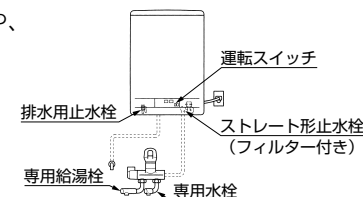


フィルターにゴミが詰まると故障の原因となりますので試運転後、フィルターの掃除を行ってください。

16 水抜き方法

⚠ 注意	
!	施工後、長時間使用されない場合は、電源プラグを抜いて水抜きする (水質が変化した場合、下痢・腹痛など体をこわすおそれがあります。)

試運転後、引渡しまで長期間使用されない場合や、凍結のおそれがある場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。



- (1) 運転スイッチを押して運転を止め、電源プラグを抜く。
- (2) 混合栓の湯側を開け、湯が水になるまで出す。※水になったら混合栓を閉めてください。
- (3) 止水栓を閉める。
- (4) 排水用止水栓に付属の水抜きチューブを差し込み、排水用止水栓を開けてタンク内の水を抜く。
- (5) 水抜き後、止水栓を開/閉し、給水/排水を繰り返してタンク内を清掃する。
- (6) 清掃完了後、排水用止水栓および止水栓を閉め、水抜きチューブを取り外す。
- (7) 止水栓を開け、タンク内へ給水し、水漏れのないことを確認する。

寒冷地での設置

電源スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水・出水・出湯側の連結管と排水管に保温材または、ヒータを巻いてください。